

## 【アンコール開催】

### 平成22年度兵庫県大学図書館協議会研究会（平成23年1月28日） 「図書館空間をつくる：利用者を引きつける空間づくり」実施報告

開催日時：平成23年1月28日(金) 13:30～16:30

開催場所：神戸大学社会科学系フロンティア館(3階)プレゼンテーションホール

講師：尼川 ゆら 氏

企画運営：兵庫県大学図書館協議会 研修担当館 神戸大学附属図書館

#### ◎参加者

	所属等	機関数	人数	小計	合計
参加者	加盟館	4	19	58	66
	近畿地区	18	27		
	公立図書館	12	12		
運営	神戸大学		8	8	

研修風景 - 1（瀧澤附属図書館長開会挨拶）



研修風景 - 2（ワークショップ）



研修風景 - 3（ワークショップ）



研修風景 - 4（ワークショップ）



◎アンケート

I. 回収 58 名 (回収率100%)

II. 内訳

所属等	人数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	年齢不明	
大学図書館	国立	24	4	7	5	7	0	1
	公立	3	1	1	1	0	0	0
	私立	17	6	2	7	1	0	1
	不明	2	1	1	0	0	0	0
公共図書館	11	3	6	2	0	0	0	
所属等不明	1	0	0	0	0	0	1	
合計	58	15	17	15	8	0	3	

III

1. 当研究会について				
1)研究会のレベル	高い	普通	低い	不明
	23	34	0	0
2)講演の内容	良い	普通	悪い	不明
	42	15	0	0
3)ワークショップの内容	良い	普通	悪い	不明
	45	10	2	0
4)開催時間	長い	普通	短い	不明
	9	43	4	1
5)当研究会で特にお知りになったことは？ (自由記述)	利用者を引きつける効果的な掲示方法 (28)			
	図書館の快適な空間づくり (8)			
	具体的な事例 (7)			
	掲示物の色づかい (3)			
	専門的なアイデアや手法 (2)			
	効果的な広報・案内サイン (2)			
	どういう物がマイナス要素になるのか			
6)当研究会で特に興味を持たれた点は？ (自由記述)	ワークショップで体験・観察できたこと (10)			
	マイナス要素を取り除いて掲示する (5)			
	先生の講演・講評 (5)			
	掲示の目的を整理し、色や配置を工夫し、余分な情報を取り除くこと (5)			
	空間や余白の視覚効果 (4)			
	見る人の目線に立って考えるということ (4)			
	ポスターや掲示物の色や、中の人々の目線を考えた掲示のアイデア (3)			
	無意識下の人間の視覚、情報のとらえ方 (2)			
	舞台美術を図書館展示に応用できること(考え方)			
	掲示物の素材による扱い方			
舞台芸術と図書館空間を作るということの関連性				
2. 掲示による広報について				
1)貴館の掲示物の状況	良い	普通	悪い	不明
	3	40	14	0
2)掲示による利用者への周知度	6	33	17	1
3)掲示による利用者の理解度	5	34	17	1
4)貴館の「空間づくり」の状況	4	37	14	2

**3. 研究会・講演会について希望するテーマがありましたらお書きください。**

	利用者が足を運びたいくなるような図書館づくり (8)
	補修方法 (2)
	展示。魅力ある展示をするには。(テーマ選びから実際の展示まで) (3)
	電子(的)掲示板、看板について
	システム管理、サーバー管理に役立つ知識、テクニックなど
	図書館内のレイアウト(机や棚の配置等)について
	図書館内サービス
	図書館スタッフと利用者との接し方・関わり方 (2)
	広報の工夫に関するもの
	オリエンテーション、ガイダンスで新入生に図書館を印象づけるアイデア
	回のように異業種の方のお話
	利用者のマナーアップの推進
	情報リテラシー教育
	WEBデザインのワークショップ